

授業概要

本講義では、税務会計Ⅰ履修者に対して、法人税法の概要を理解させることを第一の目的とする。具体的には、各項目毎に関して益金・損金／算入・不算入を理解することで法人税の課税所得や税額の計算を理解できるようにする。このほか、必要に応じて時事問題なども取り扱う。

授業計画

第1回	税務会計の基礎
第2回	課税所得の計算
第3回	益金の会計その1－受取配当
第4回	益金の会計その2－評価益
第5回	損金の会計その1－棚卸資産と繰延資産
第6回	損金の会計その2－固定資産
第7回	損金の会計その3－役員給与と従業員給与
第8回	損金の会計その4－交際費等
第9回	損金の会計その5－寄附金
第10回	損金の会計その6－租税公課と罰料金
第11回	損金の会計その7－引当金
第12回	損金の会計その8－貸倒損失
第13回	法人税額の計算
第14回	申告と納税
第15回	総まとめ
第16回	期末試験

到達目標

1. リーガルマインドを醸成すること
2. 企業会計と法人税法との関係を理解すること
3. 最終的に法人税確定申告書を記載できるようにすること

履修上の注意

税務会計論Ⅰ履修者を対象としているが、やる気があればこれにかかわらず履修を認める。教科書を使用せず、毎回レジュメを配布するのでそれをファイリングして毎回の授業に持参すること。また、講義の後半には、その時々で話題になっている法律、経済、会計等に関する情報を基に授業を進めていくので、新聞にはなるべく目を通しておくことが望ましい。

予習復習

毎回の授業の後、必ず復習することが求められる。

評価方法

中間試験（30%）、期末試験（70%）で評価する。授業への貢献などにより加点する場合がある。

テキスト

テキストは使用せず、毎回レジュメを作成して配布する。この他、参考資料を配布する場合がある。